

民主化闘争情報

No. 885

2013年10月2日

発行 日本鉄道労働組合連合会
(JR連合)

一連のJR北海道の不祥事及び事故を重く受け止め、JR北労組は、JR北海道の信頼回復には労働組合の枠を超えて、一致協力して取り組むことが重要との認識に立ち、10月2日、JR北海道労組（JR総連）、国鉄労働組合北海道本部、建交労北海道鉄道本部の三組合に対して、安全問題における共同行動の呼びかけを行った。

JR北海道の信頼回復に向け 労働組合の枠を乗り越え、 安全問題で共同行動を！

会社発足以来最大の危機との認識に立って

私たち労働組合は、労働組合として、働く者としてのチェック機能を発揮しえなかったことを真摯に受け止めなければならない。JR北海道に働くすべての従業員が一致団結して、失われた信頼を回復すべく、安全第一の、そして風通しの良い企業風土の確立に向けた取り組みが今求められている。

共同行動にあたっての取り組むべき改善に向けた柱

1. 一連の事故原因の究明と対策を早急に明らかにすること。
2. 安全・安定輸送の確立は、労使の枠を超えて改善すべき課題であることから所属組合の違いによらず公平・公正な扱いを行い、社員や職場の声が隅々まで反映できる風通しの良い企業風土の確立に向け協議を開始すること。
3. JR北海道内の労働組合合同で安全経営協議会を設置するとともに、同協議会を少なくとも年2回開催すること。
4. 各労働組合によって、経営協議会、団体交渉の会社対応の違いを無くすこと。

北鉄労・国労・建交労の組合員のみなさん、
共同行動で国民・道民の信頼を取り戻そう！